

土砂災害を防止する為には

宮崎市立生目中学校一年 黒木 理心

私は今までの経験で、土砂災害が起きたとき、避難することや身を守ることにいかにか大切なのかについて考えました。

まず、避難することが大切だと思います。かけについてですが、九州で雨が降ることが多く、土砂崩れが起きる回数が増えてきました。それに巻き込まれた方々や義員さんが亡くなっているニュースを見ました。このニュース

スを見て、「大丈夫」と思っても亡くなる人はいるから、油断してはいけないと感じました。

次に、身を守ることが大切だと感じました。かけは、大雨が降ると洪水や浸水が起きるからです。最初に伝えたいように、九州で大雨が降ることがとても多いです。大雨が降ると、溺れて亡くなる可能性もあります。だから泳ぐ力をつけたり物を掴む力をしっかりして身を守ることが大切だと感じました。

家族がこれまでに経験した避難では、高齢者の祖母の例があります。祖母が住んでいる家はとても古く、山の奥にあったため、台風で木や土砂が崩れてくる可能性が高いと感じました。だから、木が倒れてきても被害に遭わないように私と母が祖母の家に迎えに行き、私の家で台風が通り過ぎるまで一緒に過ごし、まじごと。

台風が通り過ぎた後、近くにある公園に行くと、太い木が鉄でできた階段の手すりに倒れていました。その手すりが綺麗に折れていて大変驚きました。

この台風の経験から、土砂災害や台風を甘くみてはいけな**い**と思いました。土砂災害で人はすぐに亡くなるから、災害が起こる前に避難することが大切だと学びました。

小学生の頃、避難訓練や防災訓練を体験しました。そのときに消火器の使い方や避難の仕方の動画を見て教わりました。その動画では、土砂がどのくらいのスPEEDで流れてく

るのかや、日頃から私たちがどんな対策を
 していればいいのかなど、大切なことについて学
 ぶことができました。
 私はこの動画を見て、土砂災害から身を守
 るための防止策について考えてみました。防
 止策は、

① ハザードマップを確認しておく

② 危険な箇所を確認しておく

③ 食料や水分を確保する

④ すぐに避難する

の4つです。

まず①が大切だと思っただ理由は、避難する
 経路や場所がわからないと道に迷ってしま
 うからです。

次に②が大切だと思っただ理由は、周りに
 い建物があると、それが流れてきて巻き込ま
 れるかもしれないからです。

そして③が大切だと思っただ理由は、もし
 避難をしたとしても、食べ物がないと生きてい
 けないからです。

最後④が大切だと思っ理由は、避難に
 遅れた人が一番亡くなる確率が多いと思いま
 した。実際に逃げ遅れて亡くなる方が多いか
 らです。④が一番大切なことだと私は考えて
 います。
 このように、土砂災害によつて亡くなつた
 方の人数はとても多いです。
 私は大切な人をなくしたう生きていけない
 と思うし、数ヶ月間、立ち直れないと感じま
 す。このようなことをなくす為には一人でも
 亡くなる方の人数を減らしていく必要があリ
 ます。そのためにこの四つのことを意識して
 いきたいです。そして、防災訓練の行事をな
 くさないでほしいです。
 将来、土砂災害が起きることがたくさんあ
 ると思います。そのときには、多くの方がい
 かに早く避難することや身を守ることが大事
 なのかを知つて行動してもらいたいです。
 私はこの作文を書いて、どのくらい命が大
 切なのかを知り、避難や身を守ること、そし

て家族の大切さをより深く考えることができ
ました。

次に土砂災害がおこったときは、このこと
を意識して日頃から備えておきたいです。

